



現代行政法の構造と展開 -- 小早川光郎先生古稀記念

宇賀 克也(東京大学教授)・
交告 尚史(法政大学教授)／編

2016年9月 A5判上製箱入, 950ページ
定価 22,680円(本体 21,000円) ISBN 978-4-641-22701-9

行政法の研究・教育に邁進してこられた小早川光郎教授の古稀を記念して、
薫陶を受けた研究者・実務家が寄稿した、珠玉の論攷 43篇。



行政法理論の探究 -- 芝池義一先生古稀記念

曾和 俊文(関西学院大学教授)・野呂 充(大阪大学教授)・
北村 和生(立命館大学教授)・前田 雅子(関西学院大学教授)・
深澤 龍一郎(名古屋大学教授)／編

2016年3月 A5判上製箱入, 612ページ
定価 14,040円(本体 13,000円) ISBN 978-4-641-13182-8

行政法上の諸問題のうち、重要ではありながら従来からあまり理論的な検討が行われてこなかったものが
少なからず存在する。
本書ではそれらの諸問題を明らかにし、より深い考察・検討を行い、理論上の欠缺を埋める。



企業法の進路 -- 江頭憲治郎先生古稀記念

黒沼 悦郎(早稲田大学教授)・藤田 友敬(東京大学教授)／編

2017年2月 A5判上製箱入, 1074ページ
定価 24,840円(本体 23,000円) ISBN 978-4-641-13757-8

学界の第一線を歩んでこられた江頭憲治郎先生の古稀を祝し、薫陶を受けた研究者 37名が寄稿。
最先端の研究が集結した珠玉の論文集。

高橋宏志先生古稀祝賀論文集 民事訴訟法の理論

高田 裕成(東京大学教授)・山本 弘(神戸大学教授)・山本 克己(京都大学教授)・
松下 淳一(東京大学教授)・畑 瑞穂(東京大学教授)／編

2018年2月 A5判上製箱入, 1450ページ 予定価 33,480円(本体 31,000円) ISBN 978-4-641-13780-6

高橋宏志先生の古稀をお祝いし、学界・実務界を牽引する執筆陣による珠玉の論攷 52篇を収載。
民事訴訟法理論の“いま”と“これから”を描き出す。



西田典之先生献呈論文集

山口 厚(東京大学名誉教授)・佐伯 仁志(東京大学教授)・
今井 猛嘉(法政大学教授)・橋爪 隆(東京大学教授)／編

2017年3月 A5判上製箱入, 602ページ
定価 15,120円(本体 14,000円) ISBN 978-4-641-13918-3

2013年6月にご逝去された西田典之先生に捧げる論文集。
西田先生が研究されたテーマを中心に、縁の深い研究者が寄稿。

経済法の現代的課題 -- 舟田正之先生古稀祝賀

金井 貴嗣(中央大学教授)・土田 和博(早稲田大学教授)・
東條 吉純(立教大学教授)／編

2017年6月 A5判上製箱入, 710ページ
定価 18,360円(本体 17,000円) ISBN 978-4-641-14491-0

半世紀にわたって経済法研究に携われ、学界をリードしてこられた舟田正之先生の古稀を祝し、
幅広い年代の執筆者が論攷を寄せた珠玉の論文集。





憲法の論理

長谷部 恭男 (早稲田大学教授) / 著

2017年4月 A5判上製カバー付, 244ページ
定価 4,860円 (本体 4,500円) ISBN 978-4-641-22716-3

著者が2013年から2016年にかけて発表した論文13本と、書き下ろし1本をまとめた。「憲法の背後にあるのは、純化された実体としての人民か、約定たる憲法の基本原理か、それとも神の命ずる法か」(「はしがき」より)——長谷部憲法学の神髄を示す一冊。



論究憲法 -- 憲法の過去から未来へ

長谷部 恭男 (早稲田大学教授) / 編

2017年5月 A5判並製カバー付, 474ページ
定価 4,104円 (本体 3,800円) ISBN 978-4-641-22728-6

論究ジュリスト「憲法」特集に掲載した論文を再構成。日本国憲法成立から今日に至る、憲法上の重要な動き(判例)を理論的に読み解きながら、憲法のこれまでを理解し、これからを考える。



違憲審査 -- その焦点の定め方

千葉 勝美 (元最高裁判所判事) / 著

2017年5月 四六判上製カバー付, 214ページ
定価 2,700円 (本体 2,500円) ISBN 978-4-641-22724-8

裁判官出身の最高裁判事として、数々の注目される補足意見を記し、最高裁の多数意見の形成に影響を与えているといわれた著者が、大法廷事件を始めとした重要な憲法訴訟に関して、自身の補足意見を手掛かりに、司法の立ち位置を考察する。



機関争訟の「法律上の争訟」性

西上 治 (大阪市立大学准教授) / 著

2017年9月 A5判上製カバー付, 458ページ
定価 8,964円 (本体 8,300円) ISBN 978-4-641-22730-9

機関争訟は全て「法律上の争訟」ではないと本当に言えるのか。訴訟法と組織法にまたがるこの問題の構造につき、該当性否定の論拠の基礎とされる、ドイツ公法学における国家法人説に議論の淵源を探りつつ、学説の展開を詳細に整理し分析を加える。



第三者効の研究 -- 第三者規律の基層

巽 智彦 (成蹊大学准教授) / 著

2017年9月 A5判上製カバー付, 414ページ
定価 8,640円 (本体 8,000円) ISBN 978-4-641-22729-3

行訴法上の第三者効の内容を解明し、それを行政紛争の画一的解決のための仕組みとして分析することを通じ、形成訴訟や対世効の問題一般へのアプローチを試みる。行政訴訟のみならず民事訴訟も含めた、訴訟法理論全体に関わる解釈論、立法論を展望。



裁判と法律学 -- 「最高裁回想録」補遺

藤田 宙靖 (東北大学名誉教授・元最高裁判所判事) / 著

2016年7月 四六判上製カバー付, 354ページ
定価 3,564円 (本体 3,300円) ISBN 978-4-641-12581-0

前著『最高裁回想録——学者判事の七年半』から4年。
裁判とは何か、裁判実務にとっての法解釈学の意義について、さらに考察を深め、その本質を見極める。
法学教室誌上での蟻川恒正教授・中川丈久教授との対談「藤田宙靖先生と最高裁判所」を収録。

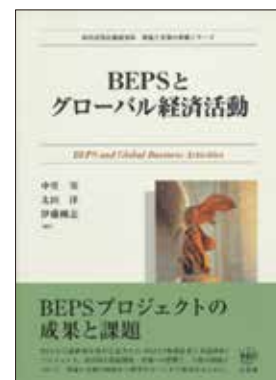


BEPS とグローバル経済活動

中里 実 (東京大学教授)・太田 洋 (弁護士)・伊藤 剛志 (弁護士) / 編著

2017年11月 A5判上製カバー付, 338ページ
定価 5,832円 (本体 5,400円) ISBN 978-4-641-22727-9

タックスヘイブン等を利用した租税回避が活発化し、各国法人税源の深刻な浸食を招いている。
OECDは2015年にいわゆるBEPS問題に対処するための行動計画を最終報告として公表した。
本書では最終報告を素材に国際課税理論・実務の最先端を考察する。



包括的担保法の諸問題 (上智大学法学叢書 37)

佐藤 岩昭 (上智大学教授) / 著

2017年5月 A5判上製カバー付, 362ページ
定価 6,156円 (本体 5,700円) ISBN 978-4-641-13767-7

本書では、「包括的担保権」という概念で、
債権者代位権・直接訴権・詐害行為取消権という訴権を、
債権者に与えられた債権の強制的回収手段として説明することにより、
三つの訴権の体系的位置づけと、
それらの個々の機能をより明晰に言語化することを目指した。



消費者契約の経済分析

西内 康人 (京都大学准教授) / 著

2016年2月 A5判上製カバー付, 334ページ
定価 5,724円 (本体 5,300円) ISBN 978-4-641-13728-8

消費者を典型とした弱者の法的保護に関する議論は、
介入による将来への影響可能性を意識する重要性に比べて、明確に議論されていない。
ここに着目して経済的・法的分析を行った全面書き下ろしのモノグラフィー。
アメリカ法を中心としながら紹介・考察する。



フランス法における返還請求の諸法理 -- 原状回復と不当利得

齋藤 哲志 (東京大学准教授) / 著

2016年9月 A5判上製カバー付, 580ページ
定価 9,720円 (本体 9,000円) ISBN 978-4-641-04818-8

本書は、フランス法上の原状回復と不当利得について、その生成過程を検証し、
その論理構造を分析することによって、ドイツ法や日本法とは異なる独自性を今なお強く残している
フランス不当利得法の特徴を明らかにすることを試みるものである。



不法行為責任内容論序説

長野 史寛(京都大学准教授)／著

2017年3月 A5判上製カバー付, 338ページ
定価 5,832円(本体 5,400円) ISBN 978-4-641-13768-4

物損・人損につきドイツの判例・学説を細密に分析し、責任内容確定の法理が四つの規範群と相互の適用関係を規律するルールとからなることを示す。従前の理論的蓄積の浅い領域で具体的規範命題を提示し、不法行為効果論の一般理論を構築せんとする意欲的論考。第13回(2017年度)商事法務研究会賞受賞。



相続法の立法的課題

水野 紀子(東北大学教授)／編著

2016年3月 A5判上製カバー付, 318ページ
定価 3,996円(本体 3,700円) ISBN 978-4-641-13733-2

社会情勢の変化を受け、また平成25年の最高裁判決および法改正を契機として、相続法制の見直しへ向けた検討が進む。立法的課題、また、現在の理論・実務の到達点はどこにあるのか。法制審議会民法(相続関係)部会委員・幹事も含む執筆陣による研究成果。



自動運転と法

藤田 友敬(東京大学教授)／編

2018年1月予定 A5判上製カバー付, 300ページ
予定価 4,212円(本体 3,900円) ISBN 978-4-641-12599-5

自動運転車の普及が現実味を帯びてきた中、事故などの際の法的責任のあり方が議論となっている。本書は、研究者・実務家による検討の成果をまとめ、公表するものである。



信託法 -- 現代民法 別巻

道垣内 弘人(東京大学教授)／著

2017年5月 A5判上製カバー付, 460ページ
定価 3,780円(本体 3,500円) ISBN 978-4-641-13765-3

平成18年制定の現行信託法について、その文言・論理構造に注意しながら、厳密な解釈論を示し、信託法の本質を解明する本書は、今後の研究の発展や実務の展開の礎となろう。立法過程にもたずさわった第一人者による、待望の体系書。



信託法セミナー 3 -- 受益者等・委託者

能見 善久(学習院大学教授)・道垣内 弘人(東京大学教授)／編

2015年11月 A5判並製カバー付, 292ページ
定価 4,320円(本体 4,000円) ISBN 978-4-641-13700-4

ジュリスト連載「信託法セミナー」の第3弾。主に受益者と委託者に関する部分を取り扱う。第1巻・第2巻に続き、第一線で活躍する研究者と実務家が、座談会形式でハイレベルな議論を展開。ジュリストの連載には掲載されていない、新規収録のみで構成。



株主と会社役員をめぐる法的課題

近藤 光男 (関西学院大学教授, 神戸大学名誉教授) / 著

2016年11月 A5判上製カバー付, 440ページ
定価9,180円 (本体8,500円) ISBN 978-4-641-13748-6

前著『コーポレート・ガバナンスと経営者責任』に続く論文集。
著者が長年にわたり主要な研究領域としてきた株主および会社役員に関する
近時の論放, これらを内容とする日米の判例研究を一書にまとめる。
法改正にかかる内容には, 論放末尾の「追記」で応接した。



会社法の継受と収斂

(大阪市立大学法学叢書 63)

高橋 英治 (大阪市立大学教授) / 著

2016年4月 A5判上製カバー付, 444ページ
定価9,180円 (本体8,500円) ISBN 978-4-641-13739-4

会社法の「継受」と「収斂」に関する問題を扱った論文を集め, 最新の法令や文献に対応し,
全面的に書き改めた論文集。外国法, とりわけドイツ法との比較検討に重点をおき,
今, 日本の会社法が米国化しつつある状況に警鐘を鳴らし, 今後の日本のあるべき会社法の姿を提唱する。



日本の公開買付け -- 制度と実証

田中 亘 (東京大学教授), 森・濱田松本法律事務所 / 編

2016年10月 A5判上製カバー付, 438ページ
定価8,208円 (本体7,600円) ISBN 978-4-641-13758-5

2006年~2013年に行われた487件の公開買付け事例のデータに基づき, 包括的な実証分析を行い,
それを踏まえて解釈論や立法論を展開。
法学者・経済学者・弁護士が, 公開買付けの実態および法制度について多面的な分析をし,
望ましい公開買付け法を探究する。第11回M&Aフォーラム賞正賞『RECOF賞』受賞。



数理法務のすすめ

草野 耕一 (弁護士, 西村あさひ法律事務所代表) / 著

2016年9月 A5判上製カバー付, 346ページ
定価4,104円 (本体3,800円) ISBN 978-4-641-12588-9

「法の行動分析」「法の統計分析」「法の財務分析」の実務上有用性が高いテーマについて,
数論的議論を厳密に行いつつも,
具体的な事例を用いて解説することで読みやすさ, わかりやすさとの両立を実現。
数理法務の実践力が身につく, 法律家としての技量を高める1冊。

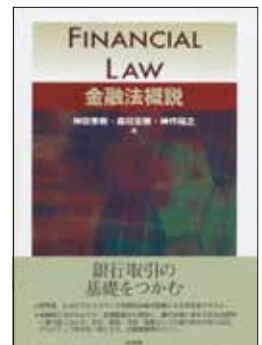


金融法概説

神田 秀樹 (学習院大学教授)・森田 宏樹 (東京大学教授)・
神作 裕之 (東京大学教授) / 編

2016年12月 A5判並製カバー付, 320ページ
定価2,700円 (本体2,500円) ISBN 978-4-641-13668-7

銀行を取り巻く金融制度や, 受信取引, 与信取引をはじめとする銀行取引を,
理論・実務の両面にわたって簡明に解説する, 研究者と実務家のコラボレーションによる画期的テキスト。
銀行取引の基礎から最新のトピックまでをコンパクトに収めた。



金融商品取引法

黒沼 悦郎 (早稲田大学教授) / 著

2016年10月 A5判上製カバー付, 808ページ
定価8,640円 (本体8,000円) ISBN 978-4-641-13693-9

金融商品取引法は, 企業の資金調達と国民の資産形成・運用に資するため, 資本市場を規制する法である。
各制度の趣旨・機能を丁寧に論じるとともに, 実務の変遷や最先端の議論に言及。
現行制度の問題点の指摘や次代への提案も行う。





民事訴訟による集合的権利保護の立法と理論

三木 浩一 (慶應義塾大学教授) / 著

2017年12月 A5判上製カバー付, 372ページ
定価 8,640円 (本体 8,000円) ISBN 978-4-641-13743-1

いわゆる「消費者集合訴訟」をはじめとする『集合的権利保護』に関する一連の論攷をまとめた論文集。消費者裁判手続特例法の立法に携わり、米国、ブラジル等の先進地の立法にも通じた著者が、民事訴訟法理論・立法論・比較法の観点から執筆した論攷を収録。



民事訴訟法の現代的課題

-- 民事手続法研究 I

山本 和彦 (一橋大学教授) / 著

2016年4月 A5判上製カバー付, 590ページ
定価 11,880円 (本体 11,000円) ISBN 978-4-641-13726-4

現行民事訴訟法の制定・施行から約20年。この間の重要な改正に関与しながら、また、その運用を見守りながら、その課題について深く考察し、解明。原論攷公表後の法令改正や新判例、また、議論動向を補筆した。実務にも有益なアクチュアルな研究書。



民事訴訟における争点形成 (上智大学法学叢書 37)

安西 明子 (上智大学教授) / 著

2016年3月 A5判上製カバー付, 354ページ
定価 5,832円 (本体 5,400円) ISBN 978-4-641-13732-5

訴訟当事者の対等な主張立証の機会を確保し、そのプロセスをできるだけ公正かつ透明に、当事者にとって使いやすく仕組むために民事訴訟はいかにあるべきか。宗教団体紛争判例や文書提出命令判例などに現れた多様な場面を通じて深く分析する。



民事手続原則の限界

長谷部 由起子 (学習院大学教授) / 著

2016年2月 A5判上製カバー付, 356ページ
定価 5,832円 (本体 5,400円) ISBN 978-4-641-13730-1

当事者にとって重要な文書はどの範囲で提出義務が課されるのか、秘密保護との関係をどのように考えるか、本案訴訟と民事保全の関係をどうとらえるか、また、集団訴訟をめぐる課題など、これらの現代的なテーマを通して民事手続のあり方を探究する。



公共訴訟の救済法理 (同志社大学法学叢書 3)

川嶋 四郎 (同志社大学教授) / 著

2016年3月 A5判上製カバー付, 330ページ
定価 7,560円 (本体 7,000円) ISBN 978-4-641-13741-7

異なった価値観をもつ人々間の法的な争いを調整し法的救済を創造していくために、裁判所を中心とした公正なフォーラムとその整序された手続過程自体のもつ価値の重要性が、ますます重要になっている。そのような問題について諸外国の実例などをもとに紹介。



労働法 国際法

雇用差別禁止法制の展望

浅倉 むつ子 (早稲田大学教授) / 著

2016年12月 A5判上製カバー付, 644ページ
定価11,880円 (本体11,000円) ISBN 978-4-641-14466-8

性差別禁止法理研究の第一人者が、雇用差別、妊娠・出産・介護を理由とする不利益取扱い等、性差別にかかわる問題にジェンダーの視座から分析をくわえ、全ての労働者に生活とのバランスを確保した労働を可能とする包括的差別禁止法制を構想する。



労働者保護法の基礎と構造

-- 法規制の柔軟化を契機とした日独仏比較法研究

桑村 裕美子 (東北大学准教授) / 著

2017年2月 A5判上製カバー付, 400ページ
定価8,640円 (本体8,000円) ISBN 978-4-641-14490-3

近年、あらゆる労働関係に一律に適用される強行規定ではなく、労使合意による例外設定（逸脱）が可能な法規定が増えている。そうした規制手法の有用性と限界を検討し、国家・集団・個人が労働者保護の実現においてどのように関わるのが適切かを論じることで、労働者保護法のあるべき姿を模索する。
2017年度労働関係図書優秀賞受賞。



越境犯罪の国際的規制

石井 由梨佳 (防衛大学校専任講師) / 著

2017年8月 A5判カバー付, 528ページ
定価8,964円 (本体8,300円) ISBN 978-4-641-04680-1

近年越境犯罪の規制が強まるにつれ、私人の権利との軋轢が生じるようになった。本書は越境犯罪の捜査における国家の執行管轄権の限界と、国家間協力を定める合意の下での国家の権利義務の内実を実証し、越境犯罪の国際的規制の法的諸構成を明らかにする。



コンメン タール

注釈日本国憲法 (2) -- 10条 -24条

長谷部 恭男 (早稲田大学教授) / 編
川岸 令和 (早稲田大学教授)・
駒村 圭吾 (慶應義塾大学教授)・
阪口 正二郎 (一橋大学教授)・
穴戸 常寿 (東京大学教授)・
土井 真一 (京都大学教授) / 著

2017年1月 A5判上製箱入, 548ページ
定価 6,804円 (本体 6,300円) ISBN 978-4-641-01797-9

全4巻中の第1回配本。国民の権利及び義務に関する第3章の前半を収録。



新注釈民法 (15) 債権8 -- 事務管理・不当利得・不法行為1

窪田 充見 (神戸大学教授) / 編集
大村 敦志 (東京大学教授)・道垣内 弘人 (東京大学教授)・
山本 敬三 (京都大学教授) / 編集代表

2017年2月 A5判上製箱入, 984ページ
定価 10,800円 (本体 10,000円) ISBN 978-4-641-01751-1

判例・学説の現在の到達点を示す、本格的コンメンタール『新注釈民法』全20巻の第1回配本。



新注釈民法 (17) 親族1

二宮 周平 (立命館大学教授) / 編集
大村 敦志・道垣内 弘人・山本 敬三 / 編集代表

2017年10月 A5判上製箱入, 804ページ
定価 8,856円 (本体 8,200円) ISBN 978-4-641-01752-8

第4編親族の第1章総則, 第2章婚姻, 第3章親子第1節実子を取り扱う。

注釈刑法 第2巻 -- 各論(1) 77条~198条

西田 典之 (元東京大学教授)・山口 厚 (東京大学名誉教授)・
佐伯 仁志 (東京大学教授) / 編集

2016年12月 A5判上製箱入, 892ページ
定価 10,800円 (本体 10,000円) ISBN 978-4-641-01782-5

団藤重光責任編集『注釈刑法』全6巻に連なる、新注釈刑法3分冊の第2弾。
第2巻では、刑法第2編「罪」の前半部分, 77条から198条までを扱う。
多くの裁判例を通して実務を分析するとともに、学説の現況を明らかにする。



注釈民事訴訟法 第4巻 -- 第一審の訴訟手続(2) 179条~280条

高田 裕成 (東京大学教授)・三木 浩一 (慶應義塾大学教授)・
山本 克己 (京都大学教授)・山本 和彦 (一橋大学教授) / 編集

2017年7月 A5判上製箱入, 1534ページ
定価 19,440円 (本体 18,000円) ISBN 978-4-641-01794-8

本格的コンメンタール『注釈民事訴訟法』全5巻, 第2回配本。本巻は, 第2編「第一審の訴訟手続」のうち,
第4章「証拠」から第8章「簡易裁判所の訴訟手続に関する特別」を扱う。



注釈民事訴訟法 第5巻

-- 上訴・再審・手形小切手訴訟・少額訴訟・督促手続・執行停止
281条~405条

高田 裕成・三木 浩一・山本 克己・山本 和彦 / 編集

2015年12月 A5判上製箱入, 914ページ
定価 9,720円 (本体 9,000円) ISBN 978-4-641-01795-5

【全5巻の構成】第1巻 総則(1) 1条~60条 / 第2巻 総則(2) 61条~132条の10 /
第3巻 第一審の訴訟手続(1) 133条~178条 / 第4巻《既刊》 / 第5巻《既刊》

